

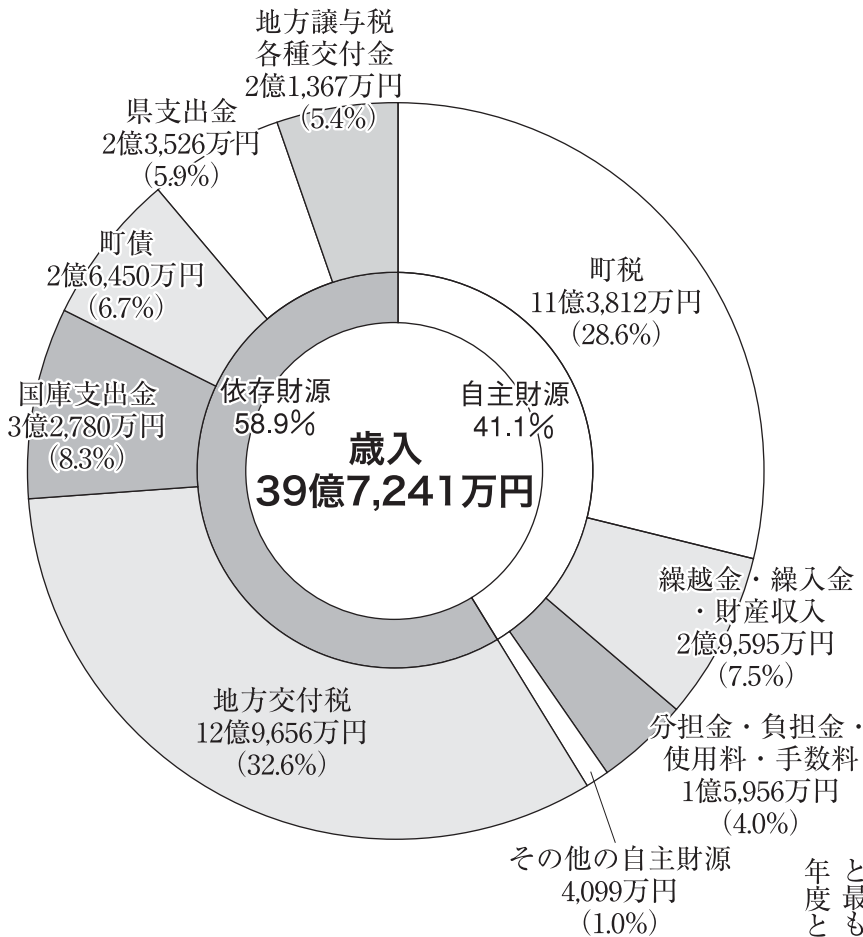
平成21年度 決算報告

決算は、町の収入と支出の結果を表す『町の家計簿』です。

皆さんに納めていただいた税金など、どのような収入があったのか、またその収入がどのように使われたのかをお知らせします。

一般会計決算額

歳入	39億7,241万円
歳出	38億7,972万円
差引	9,269万円

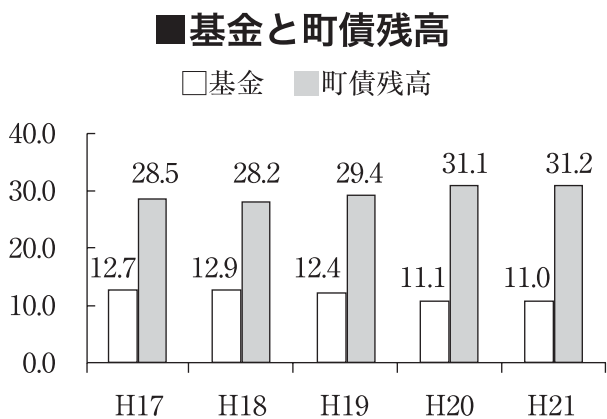


歳入

町税は、地方交付税と並ぶ歳入の柱ですが、景気の落ち込みの影響から町民税が大幅に減少するなど、前年度と比べて7、845万円、率にして6%以上も減少しています。地方交付税は、市町村の財源不足を補うため国から交付されるものですので、税収の減少などにより財源不足額が大きくなると増加します。平成21年度は、

歳出

前年度に比べて4、763万円増加しています。町債は、皆野中学校校舎改築事業の終了に伴い大幅に減少しましたが、普通交付税の代替措置である臨時財政対策債が増加する傾向にあります。こうしたことから、歳入総額は前年度に比べて6億3、289万円の減額となりました。福祉に関する経費である民生費が11億7、841万円、30.4%と最も大きくなっています。前



基金は町の貯金、町債は町の借金に相当します。ここ数年基金は減少傾向に、町債残高は増加傾向にありましたが、平成21年度は、前年度と同程度を維持しました。

円、32.8%の増加です。これは、定額給付金事業が新たに実施されたことのほか、障害者福祉に係る経費、国民健康保険特別会計・介護保険特別会計の財源補てん経費など、いわゆる社会保障経費が軒並み増加したことによりです。民生費に次いで大きな割合を占める教育費は、皆野中学校校舎改築事業の終了により大幅に減少しましたが、小学校の校舎・体育館などの老朽化に伴う改修工事費が目立つ傾向が見られます。これらにより、歳出総額は前年度に比べて4億6、476万円の減額となりました。